

2026年度定期総会のご案内

初秋の候、会員の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

皆様には、平素より当会の活動に対し、ご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、2026年度の定期総会を下記の日程で開催させていただきます。ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、万障お繰り合わせのうえ、是非ともご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 日時 2026年10月25日（日） 午前10時より40分程度
(グループレッスンの途中40分程度)
2. 場所 御影公会堂 和室
3. 議題
(承認事項)
 - (1) 2025年度事業報告 資料1
 - (2) 2025年度会計報告
(協議事項)
 - (3) 2026年度事業計画 資料2
 - (4) 2026年度予算 資料2
 - (5) 任期満了役員選出 [幹事]
 - (6) その他 資料3

※ 総会資料は、当会ホームページよりダウンロード下さい。

尚、当日ご都合により欠席される場合は、以下の委任状を10月23日（金）までに下記代表宛にご提出いただくか、総会当日に代理持参いただけますよう、お願い申し上げます。提出ができない方は委任状の文章をメール文としたメールでの送付いただいても構いません。

当会メールアドレス

E-mail suzuki.mikikobe@gmail.com

----- き り と り せ ん -----

委 任 状

スズキメソード三木神戸 代表 様

私は、スズキメソード三木神戸の2026年度定期総会における
議事のすべての議決を議長に一任致します。

2026年 月 日

会員氏名



資料 1. 2025 年度 事業報告及び会計報告

〔第 1 号議案〕 2025 年度 事業報告

(1) 事業報告

松本尚三・松本みゆきクラス活動報告（合同）

【定例行事】

- ・ 2025 年 12 月 20 日（土） クリスマス会〔神戸産業振興会館・レセプションルーム〕
- ・ 2026 年 4 月 19 日（日） 卒業演奏会＋アンサンブルコンサート〔ハーバーホール〕
- ・ 2026 年 9 月 13 日（日） 勉強会〔岡本教会〕

【定例行事以外の活動】

- ・ 2025 年 12 月 21 日（日） umie クリスマスイベント参加
- ・ 2026 年 2 月 1 日（日） 才能教育研究会 竹澤恭子&ジョイントコンサート in 大府
上級生 3 名参加
- ・ 2026 年 2 月 28 日（土） 第 28 回 梅の宴 参加
- ・ 2026 年 7 月 29 日（水）～8 月 1 日（土） 才能教育研究会 夏期学校（本部）
希望者参加
- ・ 2026 年 8 月 5 日（水）～8 月 7 日（金）〔御影公会堂〕 アメリカより訪問団受け入れ
8 月 5 日（水） パインランドクレッシェンドグループ 神戸着
8 月 6 日（木） スズキメソード三木神戸合流参加、グループレッスンなど
8 月 7 日（金） 原クラス（チェロ）合流参加、3 クラス合同でのコンサート・交流会を実施
- ・ 2026 年 8 月 9 日（日） 第 2 回箏曲宮城会ジュニア会員全国大会
上級生 8 名が参加、「春の海」を演奏

(2) 行事等実施報告

【定例行事】

- ・ クリスマス会は神戸市産業振興会館レセプションルームにて実施。生徒・ご家族が集まり、演奏や交流を楽しむ機会となった。
- ・ 今年度は卒業演奏会とアンサンブルコンサートを合わせる形で、ハーバーホールにて開催。卒業録音を行った生徒の独奏や合奏、弦楽合奏団によるプログラムなど、さまざまな形でアンサンブルを楽しむ機会となった。ピアノ伴奏者として久保田先生をはじめ、弦楽合奏団には OBOG や助演の方にも参加いただいた。
- ・ 勉強会は岡本教会にて実施。少人数でのアットホームな雰囲気の中、日頃の練習の成果を発表する機会となった。一人ずつピアノ伴奏付きの独奏を披露し、充実した勉強会となった。

【定例行事以外】

- ・ umie クリスマスイベントに参加。クリスマス会と2日間連続の日程となったが、多くの生徒が参加し、しっかりと練習に取り組んで本番に臨んだ。一般のお客様にも演奏を楽しんでいただく機会となった。
- ・ 才能教育研究会竹澤恭子&ジョイントコンサート in 大府に上級生3名が参加。他教室の生徒との交流や、演奏を聴く貴重な機会となった。練習にはみゆき先生にご引率いただいた。
- ・ 第28回梅の宴に参加。おなじみのうはらホールにて、地域の多くの方々が集まる中、生徒たちが演奏を披露。地域の皆さまに演奏を楽しんでいただき、音楽を通じた交流の機会となった。
- ・ 才能教育研究会夏期学校には希望者が参加。全国の生徒・指導者とともにレッスンや合奏に取り組み、他教室との交流や刺激を得る機会となった。
- ・ アメリカ・パインランドクレッシェンドツアーグループの訪問を受け入れ、3日間にわたり交流。受け入れにあたっては、役員を中心に保護者の皆さまにも準備や当日の運営に協力いただき、会場準備、昼食の手配、移動や進行のサポートなど、皆で訪問団を迎える体制を整えた。
8月6日は三木神戸クラスが合流し、グループレッスンなどを実施。8月7日は原クラス（チェロ）も加わり、3クラス合同でコンサート・交流会を開催。国や言葉の違いを越え、音楽を通して交流を深める貴重な機会となった。生徒たちだけでなく、役員・保護者にとっても、海外の仲間を迎え、ともに音楽を楽しむ貴重な経験となった。
- ・ 第2回箏曲宮城会ジュニア会員全国大会に、上級生8名が参加。宮城道雄の代表作「春の海」を、全国から集まった箏曲宮城会のジュニア会員と共演。普段とは異なる楽器との共演を通して、日本の伝統音楽に触れるとともに、音楽を通じた交流を深める機会となった。

<今後の課題>

- ・ 会員数の減少に伴い、会員数に見合った定例行事の開催回数や会場等について見直しを行う。一方で、生徒が日頃の練習の成果を発表できる演奏機会の確保についても検討していく。
- ・ 繰越金の扱いについて検討するとともに、行事の回数や内容に見合った会費の金額について、幹事会で検討していく。
- ・ 新規会員の獲得に向け、教室の活動を知っていただく機会を増やし、入会につながる取り組みを検討していく。

(3) 本会会員及び生徒数（2026年9月30日現在）

会員数 28名、生徒数 39名（うち 8名休会）

《 松本 尚三 クラス 》 会員数 23名、生徒数 30名（うち3名休会）

《 松本みゆき クラス 》 会員数 5名、生徒数 9名（うち5名休会）

参考（2025年9月30日現在）

会員数 30名、生徒数 42名（うち 7名休会）

《 松本 尚三 クラス 》 会員数 23名、生徒数 31名（うち2名休会）

《 松本みゆき クラス 》 会員数 7名、生徒数 11名（うち5名休会）

〔第2号議案〕 2025年度 会計報告

(1) 本会関係【未確定】

今年度収入	1,595,175 円	今年度支出	1,478,017 円
前年度からの繰越金	1,612,509 円	次年度への繰越金	1,729,667 円

詳細内訳は、別添の会計報告に記します。

資料2. 2026年度 事業計画及び予算

〔第3号議案〕 2026年度 事業計画（案）

(1) 事業計画

- ・2026年12月19日（土）クリスマス会（原田の森ギャラリー）
 - ・2027年 1月10日（日）30周年記念コンサート（うはらホール）
 - ・2027年 4月 3日（土）スプリングコンサート（神戸市立灘区民ホール・マリーホール）
 - ・2027年8月中旬 サマーコンサート（アンサンブルコンサート・夏のイベント）
- 御影公会堂等の施設を利用予定

〔第4号議案〕 2026年度 予算（案）

<収入の部>

前年度繰越金	1,729,667
会費	1,332,000
合計	3,061,667 円

<支出の部>

教室使用料	444,000
合同レッスン会場費	72,000
役員会運営費	10,000
一般経費	40,000
指導者交通費	180,000
演奏会費	735,000
30周年記念コンサート	(150,000)
スプリング・コンサート	(330,000)
アンサンブルコンサート（仮称）	(255,000)
事業等補助費	98,500
クリスマス会	(28,500)
弦楽補助	(10,000)
予備費	(10,000)
関西地区大会参加費	(50,000)

合計	1,579,500 円
----	-------------

次年度繰越金	1,482,167 円
--------	-------------

資料3 次年度以降の行事・教室運営について

ー 現在の教室の規模に合った活動を目指して ー

現在、会員数が30名を下回る状況となり、これまでと同じ形で行事を続けていくことについて、行事の規模や回数、会員の負担、運営面などを見直す時期となっています。

9月に行われた松本先生・みゆき先生との話し合い、また9月27日の幹事会での意見交換を踏まえ、次年度以降は、春・夏・冬の年3回の行事を軸として、それぞれの行事の役割を整理しながら、現在の教室の規模に合った活動を行っていく方向で検討しています。

今回の見直しは、会員数の減少を理由に単純に行事を減らすことを目的としたものではありません。限られた機会をより有意義なものとし、生徒一人ひとりが演奏し、学び、仲間と音楽を楽しむ機会を大切にしながら、無理なく継続できる教室の形を考えていくことを基本としています。

1. 次年度の主な行事について

春 スプリングコンサート（卒業演奏会）

これまでの卒業演奏会を「スプリングコンサート」として開催します。

卒業録音を行った生徒だけでなく、**在籍する生徒全員がピアノ伴奏で独奏できる機会**とし、卒業録音を行った生徒には卒業証書を授与する予定です。

これまでの卒業演奏会と勉強会を合わせたような形で、大きなホールで一人ひとりが**演奏できる機会**として位置づけます。

今回は、予約済みのため、**2027年4月3日（土）にマリーホールで開催**します。

夏 ワークショップ+アンサンブルコンサート

これまで夏に行っていた三木山での夏期合宿については、会場までの距離や準備・お手伝い等の負担を考慮し、次年度は形を変えて実施する予定です。

2026年のアメリカ訪問団受け入れの際に行った、レッスン・交流・複数の演奏を組み合わせた活動を参考に、御影公会堂を会場として、**ワークショップとアンサンブルコンサートを組み合わせた一日行事**を検討しています。

春のスプリングコンサートが「独奏」を中心とするのに対し、夏は**弦楽合奏やアンサンブルを中心とした行事**とする予定です。

ブランデンブルク協奏曲をはじめとした弦楽合奏に加え、生徒によるアンサンブル、希望するOB・OG等による演奏、先生方による演奏、他教室との合同レッスンや演奏なども含め、現在の教室の規模だからこそできる内容を検討していきます。

開催日は、**8月7日・8日・14日・15日を候補**として、今後調整します。

冬 クリスマス会

冬は、これまでと同様に**クリスマス会を開催**する予定です。

生徒やご家族が親睦を深め、楽しく交流できる機会として、現在の人数規模に合った内容を検討します。

2. 30周年記念コンサートについて

次年度は、**スズキ・メソード三木神戸の30周年という節目の年**にあたり、2027年1月10日（日）に30周年記念コンサートを開催します。

今回の記念コンサートについては、OB・OGの皆さまからのご支援やご協力により開催することが可能となりました。

そのため、会からの支出については、会場費等の多くをOB・OGの皆さまからの参加費等でまかない、**会からは主に指導者への謝金など、必要な経費について負担する形**となる予定です。

また、記念誌についても、現在の会員数や今後の会員の負担を考慮し、前回より規模を縮小して作成しています。

30周年という大切な節目を、現在の会員だけでなく、これまで三木神戸の教室に関わってくださったOB・OGの皆さまとともに祝う機会として、大切に開催したいと考えています。

3. 会費・繰越金について

次年度の会費については、**今年度と同額で据え置く予定**です。

現在、単年度の収入と支出については大きく乖離している状況ではありません。一方で、今後の会員数の変動や、物価高に伴う会場費・その他の諸経費の値上がりなども見込まれることから、今後も安定して教室の活動を継続していくため、現時点では会費を変更せず、現状を維持することとしました。

また、これまでの活動の中で生じた繰越金については、今後の運営に必要な資金として一定額を確保しつつ、**生徒や会員の皆さまの活動に還元できるよう活用していくこと**としています。

具体的には、関西地区大会など、生徒が参加する行事や学びの機会への参加費補助などに活用する予定です。

今後も、年間の収支や繰越金の状況を確認しながら、会員の皆さまの負担と教室の活動のバランスを考え、適切に会費・予算を検討していきます。

4. その他の活動について

今後は、春・夏・冬の3つの行事を年間の大きな行事として位置づけ、それ以外の活動については、**必要性・参加状況・費用・運営の負担などを考慮しながら、その都度検討**していきます。

グループレッスンについては、特に小さい生徒にとって、みんなで学ぶ大切な機会であることから、今後も継続します。

会場については、現在の御影公会堂を基本としながら、遠方から参加する会員の負担や参加人数なども考慮し、必要に応じて神戸教室など他会場の利用も検討します。

5. アメリカ訪問交流事業の残金について

2026年8月のアメリカ・Pineland Crescendo Suzuki訪問交流事業に伴うアメリカからの会費残金約9万円については生徒・会員の皆さまに還元することを目的として活用します。

できるだけ多くの生徒が参加できる機会とするため、参加者の多いスプリングコンサート終了後に食事を開催する方向で検討しています。

開催場所や詳細については、今後参加人数等を確認しながら決定します。

6. これからの教室の活動について

今回の見直しを、単に「会員数が減ったため行事を減らす」ということではなく、**現在の教室の規模だからこそできることを考える機会**としていきたいと考えています。

一人ひとりの生徒が演奏する機会を大切にしながら、先生方と相談し、会員の皆さまからのご意見も伺い、現在の教室に合った、無理なく継続できる活動の形を今後も検討していきます。